

EU・スペインとラテンアメリカとの国際関係概観

山口 恵美子（外務省欧州局）

はじめに

欧州諸国とラテンアメリカ諸国との歴史、政治経済関係や文化的な結びつきは非常に強く、両地域の緊密な関係は、欧州にとってはある意味「所与のもの」であると考えられてきた。しかし、そうした両地域の関係に変化が生じているとの観点から、現代の欧州連合（EU）とラテンアメリカとの国際関係を、スペインとの関係にも触れながら概観する。

1980年代以降のEUとラテンアメリカ

スペインのラテンアメリカへの歴史的な影響については語るまでもないが、現代においても、その政治、経済、社会、文化等あらゆる分野での影響力は大きい。スペインの皇室、政府、政党、企業、市民社会等、スペインとラテンアメリカ各国との組織や個人的な関係が、双方の関係を強固なものにし、それがEUとラテンアメリカとの関係にも影響を及ぼしてきた。

EUとラテンアメリカの関係が強化されたのは、1986年のスペインのEU加盟以降だ。スペインは、1989年前半・1995年後半（ゴンサレス政権）、2002年前半・2010年前半（アスナール政権）にEU議長国を務め、両地域の関係強化に務めてきた。スペインからは、欧州委員会のマヌエル・マリン委員長（1999年）や欧州議会のエンリケ・バロン・クレスポ議長（1989～92年）、ホセ・マリア・ヒル・ロブレス議長（1997～99年）、ジョセップ・ボレル議長（2004～07年）、ハビエル・ソラナ欧州連合外務安全保障政策上級代表（1999～2000年）がいずれもEUとラテンアメリカとの関係強化に務めてきた。ジョセップ・ボレルは現欧州連合外務安全保障政策上級代表を務めているが（2019年～）、引き続き両地域の関係強化を重視している。

スペインは、1999年にはリオデジャネイロで開催された第1回EU・ラテンアメリカ・カリブ諸国（EU-LAC）首脳会合開催のイニシアチブをとり、第2回首脳会合は、2002年にマドリードで開催された。この会合は、2013年からは、EU・ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（EU-CELAC）首脳会合として開催されるようになった。

スペインのラテンアメリカ地域との関係は、EUの枠内にとどまらない。スペインは、1986年の中米の和平合意プロセスで主導的な役割を果たした。1991年にはスペインのイニシアチブでイペロアメリカ・サミットが開始された。さらにスペインは、外務・EU・協力省を通じたラテンアメリカへの直接の国際協力を実施しているだけでなく、米州機構（OAS）、ラテンアメリカ統合連合（ALADI）、中米統合機構（SICA）、アンデス共同体（CAN）などの国際機関のオブザーバー参加国であり、それらの機関や米州開発銀行（IDB）を通じた協力も行っている。

EUやスペインとラテンアメリカとの経済関係は、1990年代以降急拡大を遂げた。これについては、多くの著書が出されているのでここでは詳しく触れないが、EUはラテンアメリカの最大の貿易相手国として、またEUにとってラテンアメリカは最大の投資先として、強固な経済関係を築いてきた。2000年以降も、EUはラテンアメリカ・カリブ地域の最大投資地域であり、2000年から2010年の間に年平均300億ドルの直接投資を行い、それはラテンアメリカ・カリブ地域の直接投資額全体の40%近くを占めた。スペインはラテンアメリカへの対外直接投資を行っている主要国であり、2010年代は年約2000億ドル弱の投資を行った。

2010年以降のEUとラテンアメリカ

スペインがEU議長国を務めた2010年5月、マドリードで第6回EU・ラテンアメリカ・カリブ諸国（EU-LAC）首脳会合が開催された。これと併せて第4回EU・メルコスール・サミットが開催され、EUとメルコスールの連携協定の締結に向けた交渉再開が発表された。またEU・中米サミットが開催され、EU・中米連携協定の署名が行われると共に、第6回EU・アンデス共同体サミットが開催され、EUとペルー・コロンビアとの間で貿易協定に署名された。さらに第4回EU・チリ首脳会合が開催されるなどEUとラテンアメリカの準統合地域の経済関係が前進した。

その後、EUは、ラテンアメリカとの間で戦略的パートナーシップ関係を構築することを目指した。2017

年9月には欧州議会がEUとラテンアメリカの政治関係に関する決議を採択した。2019年4月には欧州委員会と共通外交・安全保障政策上級代表が共同声明を発出した。そして2019年5月には、EU理事会によりEU・ラテンアメリカ関係の結論文書が採択された。EUは、この文書で、ラテンアメリカとの間での、これまでの歴史的、文化的な結びつき、人的交流、貿易・投資関係を所与のものとして、人権、基本的な自由、法の遵守といった価値観や民主主義の共通原則を共有し、マルチラテラリズムと対話に基づきグローバル・ガバナンスに向けたコミットメントを共有することを求めるとした。

これら三つの文書の共通点は、EUがラテンアメリカを、共通の価値を共有し、長く持続的で包括的なパートナーと捉え、EUがラテンアメリカ地域と強固なパートナーシップを構築する必要性が盛り込まれていることだ。とりわけEUはラテンアメリカと共に、国際的な協力やマルチラテラリズムへのコミットの共有をベースに、グローバルな課題に取り組む必要性にも言及している。

両地域の課題

しかし、EUがラテンアメリカとの関係を促進させていくためにはいくつかの課題がある。ラテンアメリカにおける中国の影響力の拡大には触れるまでもないが、EU、ラテンアメリカの主な事情は以下のとおりである。

一点目は、欧州の経済状況の悪化である。2008年の欧州の経済危機により、EUのラテンアメリカに対する影響力が低下した。スペインも状況は同じであり、経済危機以後、外務・EU・協力省の予算も大幅に削減された。

二点目は、EUもスペインも、地理的に近いアフリカや中近東などの政情不安やそれに伴う欧州への影響への対応をはじめとする近隣地域への対応に追われ、対外政策の中でラテンアメリカの優先順位が必ずしも高くない状況となっていることである。そのため、ラテンアメリカを重視していると言いつつも、具体的な対ラテンアメリカ政策が不在であることが指摘されている。

三点目は、両地域それぞれの域内で各国の意見を統一させることは非常に難しいという点がある。EU諸国間でも各国の政府内部の事情もあり、EUとして特定の対外政策への同意を得るのは容易ではない。

その代表的な例の一つとして、EUとメルコスールとの貿易協定に関する議論が挙げられる。こうした事情もあり、EU諸国の中には、地域としての多国間の枠組みではなく、ラテンアメリカ諸国と二国間で関係を促進していこうとする動きがあることも否めない。

四点目は、ラテンアメリカ諸国が大きな変革の時期にあることである。これについても既に様々な議論が行われているのでここでは詳しくは触れないが、スペインとの関係では、メキシコのロペス・オブラドール大統領が、スペインに歴史的な植民地支配への謝罪を求めたり、スペインとの外交関係停止に言及した例が挙げられる。ラテンアメリカの指導者の世代交代もあり、これまでスペインがラテンアメリカとの関係を構築してきたネットワークが以前と同じような形では機能しておらず、新たなアクター同士の関係が構築されてきている傾向がある。政党に関して言えば、以前はスペインの既存の二大政党とラテンアメリカ各国の政治家との関係が構築されていたが、現在は、2008年のスペインでの経済危機以降台頭してきたポデモスやVOX等の新たな政党とラテンアメリカとの関係が強化されてきている。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）とロシアのウクライナ侵攻

2020年以降は、以前にも増してEUがラテンアメリカとの関係を強化する必要性が求められている。新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大以降、EUは、ラテンアメリカへの中国からの積極的な支援に対抗し、2020年7月までに約10億ユーロの支援を行った。また、2021年12月にオンラインで開催されたEU・ラテンアメリカ・カリブ海地域首脳会合では、EUが2027年までに、コロナ後の長期的な復興のために34億ユーロを支援することが発表された。スペインは、ラテンアメリカへのワクチンの支援量が2番目に多い国となった。

また、2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻により、両地域の関係はさらに複雑化している。ロシアによるウクライナ侵攻へのラテンアメリカ諸国の反応は一枚岩ではなかった。ウルグアイ、グアテマラ、コロンビア、チリは、強い非難声明を出した。アルゼンチン、メキシコは武力の停止を求める声明を出した。キューバ、ニカラグア、ベネズエラはロシア支持を表明した。その後の米州機構や国連でのロシア非難決議に対しても、全会一致での支持は得

られなかった。

今年4月にはブエノスアイレスで第14回欧州・中南米議員会議 (EuroLat) が開催された。この会議で、欧州議員団はロシアへの非難宣言の発出を求めたが、中南米の左派議員を中心に反対票が投じられ、合意は得られなかった。

ロシアによるウクライナ侵略後、世界的な食糧危機の原因は、西側の制裁にあるとするロシアの論考を支持している国もあり、EUがこうしたラテンアメリカの状況に危機感を抱いていることは、ボレル欧州連合外務安全保障政策上級代表の発言からも見て取れる。

おわりに

ラテンアメリカの経済大国の多くが左派政権に転換していく現在、EUがラテンアメリカとどのように共通の価値観や民主主義の共通原則などを共有していくことができるのか、そのためにスペインがどの程度イニシアチブを発揮することができるのか注目される。欧州委員会は、ラテンアメリカにおける中国とロシアの台頭に対抗し、EUのラテンアメリカにおける外交や貿易での影響力の回復を目指し、2023年に積極的にラテンアメリカを訪問すると共に、投資や多国間協定なども含めた対ラテンアメリカ戦略を打ち出すことを計画している。また、スペインは、2023年後半のEU議長国として、2015年から開催されていないEU・ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体 (CELAC) 首脳会合の開催実現に意欲的であり、今年8月には、ラテンアメリカの左派政権との関係構築、上記サミット開催に向けた地ならしを目的として、サンチェス首相がコロンビア、エクアドル、ホンジュラスを訪問するなど、積極的なラテンアメリカ外遊が開始された。

とはいえ、来年は、スペインの総選挙が行われる年でもあり、この点からもスペインがこの時期にどの程度イニシアチブを発揮することができるのか注目される。

(本文は、個人的な見解に基づいたものである。)

参考文献

- El País. *Borrell trata de impulsar las relaciones con Latinoamérica: "Ahora no están en el radar de la UE"*. 1 de Noviembre, 2021.
- El País. *España promueve una gran cumbre entre la UE y América Latina bajo su presidencia en 2023*. 7 de Julio, 2022.
- El País. *Bruselas prepara una ofensiva comercial y diplomática para*

frenar el avance de China y Rusia en Latinoamérica, 18 de Agosto, 2022

Euroefe. *EuroLat fracasa en consensuar una declaración condenando la invasión rusa de Ucrania*. 15 de Abril, 2022.

European Council. *EU-Latin America & Caribbean Leaders' Meeting: Joining forces for a sustainable post-COVID recovery - Press release by Presidents Michel and von der Leyen*. December 2, 2021

European Parliament. *The EU and Latin America and the Caribbean: towards a stronger partnership?* Policy Department for External Relations. January 2020.

European Union. *Latin America and the Caribbean*. 20 January, 2022.

ICEX. *España, segundo destino mundial de inversión latinoamericana y puerta de entrada a Europa*. 19 de Abril, 2022.

Josep Borrell. Conferencia "La Europa geopolítica y la otra relación transatlántica" en el curso "América Latina y Unión Europea: democracia, desarrollo y renovación del contrato social, Retos para la presidencia española 2023". Fundación Carolina y Gobierno de Cantabria. 26 de Julio, 2022.

Mallo, Tomás y José Antonio Sanahuja. *Las Relaciones de la Unión Europea con América Latina y el Caribe: Reflexiones durante la Presidencia Española de 2010*.

Real Instituto Elcano. *América Latina y la invasión de Ucrania: su incidencia en la economía, la geopolítica y la política interna*. 30 de Marzo, 2022.

Sanahuja, José Amtpmop. *Relanzar las relaciones entre América Latina y la Unión Europea: Autonomía Estratégica, cooperación avanzada y recuperación digital, verde y social*. Fundación Carolina. Mayo 2022.

(やまぐち えみこ 外務省欧州局西欧課 課長補佐)